

令和7年度 学校経営の方針と重点

1 学校経営の方針

教育目標 「夢に向かって、共に生き生きと学ぶ子供を目指して」
かんがえる子 やさしい子 たくましい子

努力目標 関わりながら学びを深める子
思いやりをもって友達と関わる子
自分の体を大切に運動を続ける子

学校は、児童にとって安心・安全な環境の中で、「分かる」楽しさ、「できた」喜びを知り、将来の夢をもつ場所でなければならない。生き生きと学ぶ子供たちの姿が溢れる中里小学校にするために、学校づくりのスローガンを設定する

【めざす学校像】

学校づくりのスローガン **～みんなで楽しく、みんなががんばる～**

- ・「挑戦・継続」をキーワードにみんなで楽しく学び、みんなで根気強くがんばる学校
- ・あいさつで心をつなぎ、みんなで楽しく活動し、みんなで協力してがんばる学校
- ・学校と家庭、地域が連携して、みんなで楽しく支援し、みんなで子供を育てる学校

育てたい資質・能力

◎ふるさとに愛着と誇りをもち、学んできたことを礎に、他者と協働して新しい時代を切り拓き、よりよい社会の作り手となる基礎を育成する

【めざす子供像】

- ・よく考え、分かりやすく自分の考えを言える子
- ・友達を大切にし、仲良く協力して活動できる子
- ・健康と安全を考えて活動できる子

【めざす教師像】

- ・豊かな人間性や社会性をもち、多様な他者と関わることのできる教師
- ・子供たちが生きていく未来社会を見据え、教育課題に挑戦し続ける教師
- ・家庭、地域社会との連携を図り、学校としての組織的対応ができる教師

【学校経営の基本方針】

- ・自らやってみせる、ていねいな説明で相手の理解を得る
- ・相手の思いに耳を傾け、認め信頼して任せ、取り組む姿を誉める
- ・想定外は許されず、「空振りOK、見逃しアウト」の危機管理に努める
- ・学校、家庭、地域がチーム中里小となって子供たちを育てる

2 重点事項

- (1) 確かな学力の育成：主体的に学ぶ子の育成と基礎学力の定着
 - ①「分かる」喜びと「できる」達成感・成就感を味わわせる授業の充実
 - ②思いを伝え合い、考えを深め合うための支援
 - ③基礎学力の定着
 - ④読書活動の推進
 - ⑤地域・体験学習の充実
 - ⑥自分の夢に向かう学習意欲の喚起

- (2) 豊かな心の育成：規範意識の向上を図り、相手の立場に立って行動できる子の育成
 - ①いじめのない学校づくり
 - ②異学年交流の実施
 - ③「中小のやくそく一日のプログラム」を生かした指導
 - ④振り返りを生かした特別活動
 - ⑤情報モラル教育の充実
 - ⑥学習規律の確立

- (3) 健やかな体の育成：自分の体の健康と安全な生活を考え、実践できる子の育成
 - ①健康的な生活について意識向上に向けた取組の実施
 - ②児童の運動習慣の育成
 - ③食に関する正しい知識の向上
 - ④安全に関する基本的な知識の習得及び危険予知・危険回避能力の育成

- (4) 特別支援教育の充実
 - ①困り感の共有
 - ②全校体制による支援と合理的配慮
 - ③関係機関との連携

- (5) 地域とともにある学校の推進
 - ①地域学校協働活動の推進
 - ②幼保小中連携の推進

- (6) 子供と向き合う時間の確保
 - ①教職員の働き方改革の継続
 - ②学校の仕事、地域の仕事、学校と地域が一緒に行う仕事の仕分け

3 目標達成指標の設定

- 「みんなで楽しく、みんなでがんばる」アンケートの実施
 - (1) 実施回数4回：4月、7月、10月、12月、3月
 - (2) 目標値：肯定的回答 85%以上